

## 62-2 吉野山ロープウェイ II —機械遺産に認定されました—

先日、散髪してもらったとき、亜矢ちゃんの願いで、ご家族そろって吉野山に行かれたことを聞かせていただき、私からは吉野山ロープウェイが機械遺産に登録されたことをお話ししました。同封したのは、この日の奈良新聞のコピーです。帰宅してから、社団法人日本機械学会の機械遺産について少し調べてみました。以下はその大要です。

この学会による機械遺産の認定は学会創立 110 周年事業として始めたもので、平成 19 年には 25 件が認定され、次のものが含まれています。

- マツダによる世界初のロータリーエンジン
- 引退しても人気抜群の新幹線 0 系電動客車
- 昭和 39 年 10 月 12 日に初飛行した国産旅客機 YS11



- カブ号F型自転車用補助エンジン（昭和33年に乗りました）
- オリンパスガストロカメラGT-I（昭和25年製の胃カメラです）

そして、今年（平成24年）は吉野山ロープウェイといっしょに卓上複写機リコピー101や温水洗浄便座のウォシュレットG、東急のステンレス鋼製車両群（5200系と7000系）などが認定されました。

私の希望は大好きなスバル360が認定されることです。今の8台目までずっとスバルだというスバリストの私が1台目を買ったのは昭和42年6月、発売後の改良が繰り返されていましたが、車の基本理念や全形は当初と同じ卵型です。これは最低でも0.8mmは必要と考えられた鋼板を0.6mmにするためでした。また、屋根にはガラス繊維強化プラスチックを、リアウインドウにはアクリル樹脂板を使って軽量化を図り、燃費を向上させています。あの特徴のある形を創るためには、エンジンなどの機械と大人4人に必要なスペースを木型で作り、これに粘土を盛りつけ、石膏で型どりして設計図を描いています。私はこれまでの自動車にとらわれない斬新な企画と当時の悪路をもっともしないスバルクッション、「てんとう虫」と呼ばれた軽快なデザインが大好きです。

すみません。スバルのこととなると、話がどんどん膨らむのです。でも、あなたの乗っておられたマツダのロータリーエンジンが登録されているのですから、私のスバルも応援してください。

（平成24年7月・裕子さん、弘行君、亜矢ちゃんのお父さん宛て）6